

平成31年度 コミュニティ・スクール太宰府西中学校（CS）の推進構想

太宰府市立太宰府西中学校

1 主旨・目的

学校運営協議会は、学校運営に関して、太宰府市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域の住民（以下「地域住民等」という。）の学校運営への参画の促進や連携強化を進めることにより、次に掲げる事項の達成を目指すものとする。

- (1) 地域住民等が、本校との連携の下、目標を共有し、責任を分かち合い協働して、生徒が健やかに育つ風土が醸成されること。
- (2) 家庭及び地域の教育力を高め、本校との協働実践の下、生徒の生きる力が育成されること。
- (3) 地域住民等と本校の信頼関係を深め、地域に開かれ、地域が支え、信頼される学校になること。

2 推進計画

(1) 年次計画・経過

| 年度 | 時期 | 内容 |
|--------|--------|--|
| 平成26年度 | | コミュニティ・スクールへの理解を深める。 |
| 平成27年度 | | 学校・家庭・地域の協力体制を構築する。 |
| 平成28年度 | | コミュニティ・スクールへの参画意識を高める。 |
| 平成29年度 | 定着期 | ア 学校運営協議会による組織運営と実践 ※必要に応じた組織改編 イ 実践の整理と定着、全体構想等の完成→「充実期」への準備 ウ 西中ブロックCSによる小中連携した実践の開始 |
| 平成30年度 | 充実期（1） | ア 学校運営協議会による独立性のある組織運営① イ 三者それぞれが求めるものの整理と実践の深化 ウ 西中ブロックCSによる小中連携した実践の試行① |
| 平成31年度 | 充実期（2） | ア 学校運営協議会による独立性のある組織運営② イ 3部会の主体的のある組織運営の試行 ウ 西中ブロックCSによる小中連携した実践の試行② |
| 平成32年度 | 発展期 | ア 学校運営協議会による独立性の高い組織運営 イ 3部会の主体的のある組織運営と実践の拡大 ウ 西中ブロックCSによる小中連携した実践の定着 |

(2) 目標及び三者の特徴

<共育目標 = 全体の重点目標>

- ◎ 子どもたちの21世紀を生きる力の育成
- ◎ 地域の発展・活性化

<学 校>

- 学校の「教育目標」・「重点目標」の達成

<家庭の行動目標> ※「福岡県学校教育振興プラン」を参考に設定

- 「鍛ほめ福岡メソッド」を実践しよう。
- 学校・地域と協働して子どもを育てよう。(学校の行事や地域の活動に積極的に参加しよう。)

<地域の行動目標> ※「福岡県学校教育振興プラン」を参考に設定

- 「鍛ほめ福岡メソッド」を実践しよう。
- 子育て応援とともに、地域のよさを伝えよう。

(3) 三者（学校・家庭・地域）の特徴 … 「活動の軸となる組織」・「連携・協働のポイント」

<学 校>

①活動の軸となる組織

- 校務分掌組織… ※コミュニティ・スクールに合わせた「新校務分掌組織」に改編、本年度中
- 学年部… ・第3学年部 ・第2学年部 ・第1学年部

②ひと・もの・ことの連携・協働

- ひと… ・教師・職員 ・生徒
- もの… ・施設・設備 ・校区
- こと… ・教育活動 ・各種行事 ・各種体験活動 ・部活動 ・PTA活動 等

<家 庭>

①活動の軸となる組織

- PTA活動（本部）… ・運営委員会 ・学年委員会 ・地域委員会 ・教養委員会
・広報委員会
- 樟蔭げんこつの会・樟蔭の会（PTAのOB）

②ひと・もの・ことの連携・協働

- ひと… ・家庭にある専門性・特殊性、家族愛 ・人生経験
- もの… ・学校にはない「本物」 ・体験・体験性を提供できるもの
- こと… ・生活の知恵・昔遊び、専門的な技能 ・PTA活動・PTA行事
・新家庭教育宣言

<地 域>

①活動の軸となる組織

- 自治会… 向佐野 吉松 大佐野 大佐野台 長浦台 青葉台 つつじヶ丘 ひまわり台
北杉塚
- おおさの川を愛する会 ・まいんどクラブ
- 保育園・小学校、高校・大学
- 市社会教育等に係る組織

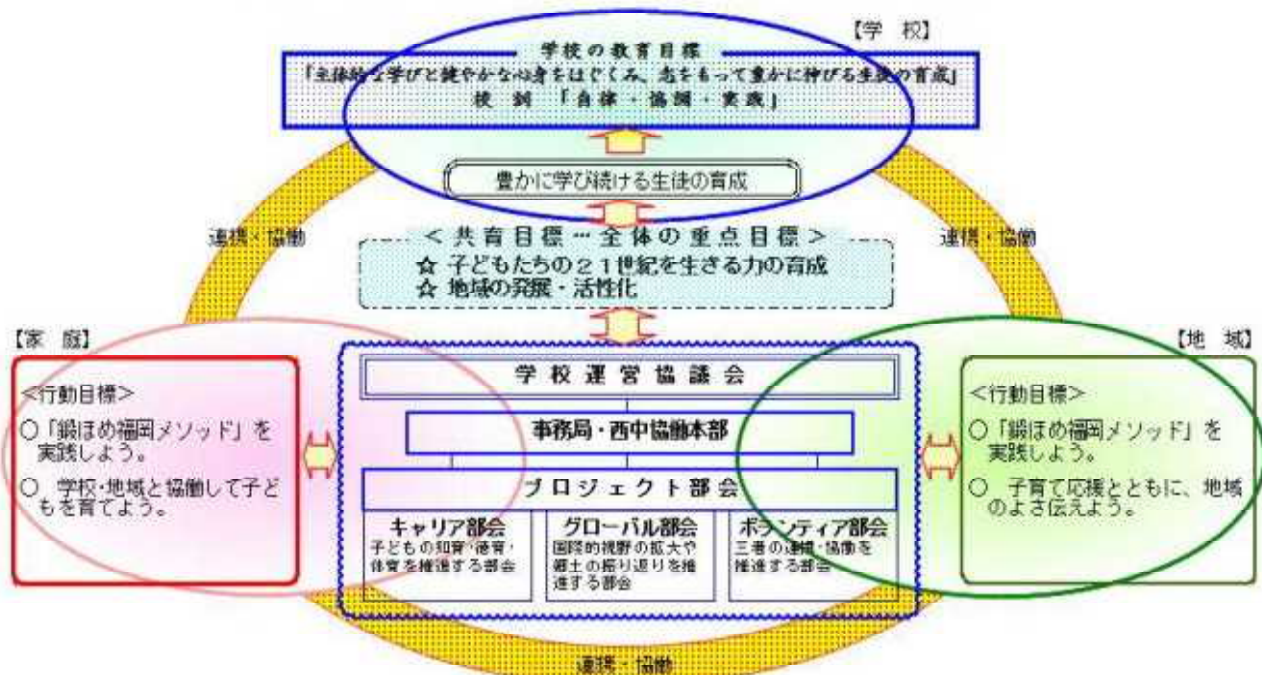
②ひと・もの・ことの連携・協働

- ひと… ・人材活用、地域にある専門性・特殊性 ・生徒の地域貢献
- もの… ・施設・設備 等 ・学校にはない「本物」 ・名所旧跡、史跡 等
- こと… ・地域・商工会等のイベント、地域活動 ・社会教育等の活動
・「太宰府検定」等、郷土に係る取組

3 全体構想と組織

(1) 全体構想図（略図） ※詳細は別紙

<平成31年度 コミュニティ・スクール 太宰府西中学校 全体構想図（略図）>



- (2) 学校運営協議会組織と実働組織 ※ H31.2.20 現在、委員・担当者等は今後の選考による。
 ○ 各委員を選考中、「会長・副会長」は4月学校運営協議会（第1回）で互選

| 学 校 運 営 協 議 会 | |
|--|---------|
| (1) 本校の校区の住民・各自治会関係… 8～11名 (向佐野) <u>当時久保貢 (前自治会長・吉松) ※継続</u> <u>宮原 勝美 (大佐野) ※継続</u> <u>河野 詠昌 (大佐野台) ※継続</u> <u>安河内信子 ※自治会長と相談中 (長浦台) ※継続</u> (青葉台) (つつじヶ丘) (ひまわり台) ※北杉塚…本地区(筑紫野市)からは出さない、積極的に協力します。 <u>久和 満晴 (元 PTA 副会長・まいんどクラブ代表) ※継続</u> <u>田嶋美佐子 (主任児童委員) ※継続</u> <u>松尾由紀子 (地域コーディネーター) ※継続</u> | |
| (2) 本校に在籍する生徒の保護者 (PTA関係) … 4名 (PTA 会長) (PTA 副会長) (PTA 書記) (PTA 会計) | |
| (3) 本校職員… 4名 (校長) (教頭) (教務) (CS) | |
| (4) 識見を有する者… 1名 <u>坂本 徹 (九州情報大学名誉教授) ※継続</u> | |
| (5) 接続する学校の教職員… 2名 (水城西小：主幹教諭) (太宰府西小：主幹教諭) | |
| (6) 関係行政機関… 1名 (行政から) | <計 20名> |

※学校運営協議会委員(最大20名)の人数調整は「教頭と主幹教諭」で実施

事務局 (西中協働本部) … 庶務・会計、協議会と推進部の連絡調整

- (学校2名・地域2名・家庭2名) ※会長・副会長も出席
 ○事務局長 (CS 担当主幹教諭) ○副事務局長 ()
 ○地域コーディネーター (松尾由紀子) ※継続
 ○地域 (松崎亜紀 ※新・検討中) ()

プロジェクト部会

| キャリア部会 | グローバル部会 | ボランティア部会 |
|---|--|---|
| <p><目的> 子どもの知育・徳育・体育を推進する部会</p> <p><活動内容> ・職業調べ ・職場体験 ・高校体験 ・スタディタイム 等</p> <p><実働組織> - 学校 (河鍋) 研究指導部 学年ユニット PTA 学年委員会担当</p> <p style="border: 1px dashed green; padding: 2px;">地域 各自治会</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">家庭 PTA 学年委員会 げんこつの会</p> | <p><目的> 国際的視野の拡大や郷土の振り返りを推進する部会</p> <p><活動内容> ・イマーン教育 ・文化理解科学学習 ・留学生との交流 ・英語圏との交流 等</p> <p><実働組織> - 学校 (松尾) 教育課程部 PTA 教養委員会担当</p> <p style="border: 1px dashed green; padding: 2px;">地域 各自治会 まいんどクラブ</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">家庭 PTA 教養委員会</p> | <p><目的> 二者の連携・協働を推進する部会</p> <p><活動内容> ・おさの川・地域清掃 ・地域行事等お手伝い ・にしの日・挨拶運動 ・ピックアップ登校 ・まほろば活動・防災訓練(新) ・樟蔭のつどい 等</p> <p><実働組織> - 学校 (近藤) 生徒指導部 学校安全指導部 PTA 地域委員会担当 部活動担当</p> <p style="border: 1px dashed green; padding: 2px;">地域 各自治会 おさの川を愛する会</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">家庭 PTA 地域委員会</p> |

4 平成30年度の主な実践 ※学校日より「樟蔭」・CS日より「大楠」から一部抜粋（等）

★ 4月24日（火）「にしの日」…地域でのあいさつ・ピックアップ登校



当日は「24=にしの日」、ブロックコミュニティ・スクールの一端として、学校・家庭・地域が「共育目標：『に』っこり、あいさつができる子ども」を目指し、「積極的にあいさつを行う日」という主旨で行っています。本年度は全3回、当日が初日でした。

本校、生徒会役員と学習委員、3年生学級委員が出身小学校の水城西小と太宰府西小に分かれ、7時45分から8時10分頃まで元気なあいさつを響かせました。雨と強風の中でしたが、「小学生からのお返しのおあいさつ」がとてもかわいらしく、小学校の校長先生からは「中学生が来てくれると小学生もいつもより良いあいさつになります」とお褒めの言葉をいただいています。

また同時に、本校の特色ある取組「ピックアップ登校」も行いました。地域への貢献を意図し、登校途中に気づいたゴミがあればそれを拾って回収する取組です。例え「紙くず1枚」でも、それを実際に「拾うという行動」に結びつけた「気持ち・心」はとても価値あるものです。雨の中でも多くの生徒がポリ袋等のゴミを拾ってきました。

雨と強風の中、PTA地域委員さんの協力に心から感謝を申し上げます。



★ 5月12日（土）コミュニティ・スクール（CS）「まほろば活動」～地域清掃・防災訓練～



コミュニティ・スクールの取組の一端として行っていた「地域清掃」を本年度から「バージョンアップ」しました。5月9日に「地区(別)集会」をもち、1年生から3年生までの異年齢集団で「顔合わせ・代表生徒決め」をした上で、5月12日当日は、8時30分に「各自治区の公民館・公園」等に集合し、

自治会長さんのお話を聞いたり、公民館周辺や公園の清掃を行ったりしています。

また一部の生徒は、伝統の「大佐野川の清掃・花植え」にも参加しました。

これは単に「地域をきれいにする」という意味だけでなく、各自治会毎に異年齢で生徒全員が揃い地域の状況や歴史等を学ぶこと、さらに、地震や崖崩れ等「いざというときの避難訓練」も兼ねているというメリットがあります。「まほろば活動」と名付け、「郷土愛や国際理解」を考える活動としてこれからますます発展させていきたいと考えています。

○ たくさんの草が生えていて、思ったよりも大変でした。でも地域の方々とも協力して、きれいにすることができてよかったです。地域の方から「ありがとう」と言われて、頑張ってたよかったです。（1年生）

○ 初めて〇〇地区の人(中学生)で集まりました。こんな集まりも大切だと思いました。自治会長さんに、〇〇地区の歴史を教えてもらいました。初めて知ることばかりでした。高齢者の割合が高いので、中学生の私が頑張らないといけないと思いました。（3年生）



【おおさの川清掃・花植え】



【公園清掃】

★ 6月18日（月）～スタディ・タイム（テスト前、生徒の自主学習会）



コミュニティ・スクール及び市学力向上推進事業の一環として、年4回の各定期考査前に、

2～3日程度の生徒の自主学習会を設定し「スタディ・タイム」と名付けています。初日の申込みは、1年生40名、2年生28名、3年生20名でした。また今回は、3学年のみ「教科別スタ

ディ・タイム」も設定し多くの3年生が参加しました。図書室では、1年生から3年生までが入り交じり、テストに向けて自主学習を進めます。カリカリと鉛筆を走らせる音と真剣な表情が印象的でした。

地域や保護者からの指導者(協力者)も募集しています。都合のつくお時間がありましたらよろしくお願ひします。

★ 7月5日(木) 3年生文化理解科の「発表会」 & 学校運営協議会(第3回)



3年生文化理解科の最終日、3年生がこれまでの学習の成果を発表するとともに、次に受講する2年生が参観し「自分がどのコースを選択するか」の参考にしました。また、学校運営協議会も同時開催とし、委員の皆様にも、演奏・活動内容や作品・制作物等を披露しています。

委員からは、「講師の先生の話をよく聞いており、素晴らしい。どの作品もどの表現も、とても立派でした。」「子どもたちが真剣に取り組んでいる姿が見えた。これをきっかけに新しい発見をして成長していけると良い。」「和やかな中に真剣さも見え、それぞれ充実しているように見えた。講師の先生に感謝です」の言葉をいただきました。

★ 平成30年9月7日(金)「大楠」から

夏休み中に行われた各自治会の夏祭り
で、西中の生徒たちがボランティアとして、準備や後片付け、こども神輿補助、夜店で
の販売や司会アナウンス等を行いました。

各自治会からは、「中学生が参加してく
れて活気が出ました。助かりました。」な
どの感謝のお言葉をいただきました。

感想文は、中学生になって初めて参加し
た1年生が書いたものです。地域の方々が
喜んでくれたことが励みになったようです。
地域の活動に参加することが生徒たちにと
ってよい経験になっています。



今年の夏祭りに参加し、いつもは、逆の立場だった
私が、中学生として、ボランティア活動に参加して、地域の
方々がうれしそうによるこんでくれたし、自分の物をひ
くをする、ということの楽しさも知れたので、来年も
参加したいです!

★ 9月21日(金) 研究発表会 (平成30年度太宰府市教育委員会研究指定・委嘱校事業)



ご参会の皆様からは、「生徒が皆、明るい表情で積極的に授業に臨んで
いる」・「グループ活動や学び合いが成立している」・「課題設定が良く、
子どもの学び合いにつながっている」・「職員のベクトルが揃っている、
『同僚性』が育っている」等々のご意見・ご感想をいただくとともに、「『真
性の学び』への教師のつなぎ方」や「『会話型コミュニケーション』を『対
話型コミュニケーション』に高めていく必要性」等の課題(鈴木教授)
も明確になりました。また、生徒の生活ノートに、「授業が楽しかった」

の声が多数挙がっていることもとてもうれしく思います。

研究発表会を、その時その場だけの「打ち上げ花火」のように捉えることな
く、「授業改善(生徒の学力向上)とは日常の授業実践の積み重ねである」と
考え、本年度に初めて教壇に立つ若年教師まで含めて全員授業公開(研究主任を除く)
の発表会としました。(中略)

結びに、事前の花壇づくりから当日の運営補助等々まで、物心両面にわたり
ご支援・ご協力いただいたPTAの皆様へ心からの感謝を申し上げます。



★ 2月20日(水) 学校運営協議会…CS「スローガン」&「マスコットキャラクター」決定!!

<スローガン>

地域・保護と共に支え合い、高め合うCS太西中



「スローガン」&「マスコットキャラクター」をつくりました。第
34期生徒会が、昨年11月に全校生徒に公募し、生徒から応募さ
れた35点の中から数点を第一次選考、本年1月15日に生徒会役
員と担当教師で第二次選考、2月20日(木)学校運営協議会で承認
され決定しました。

原作者は、スローガン…2年3組 池田実緒さん、キャラクター…
2年5組 河相行汰くんです。スローガンは、「三者(学校・地域・
家庭)の連携・協働でコミュニティ・スクールを推進しましょう!」
の願いが込められています。キャラクターの名前は「うーちゃん」、菅

原道真公にまつわる「鶯鳥」と「西中」がモチーフです。「知育・徳育・体育」について、それぞれを
「自ら学ぶ『えんぴつ』」・「心を磨く『ぞうきん』」・「大空にはばたく『つばき』」で表しています。今
後、CSの啓発で活躍する存在になるとともに、学校の沿革にも残していく記念すべきものになります。

5 平成31年度の実践、活動内容と各組織（予定）

| プロジェクト部会 | | |
|--|---|---|
| キャリア部会 | グローバル部会 | ボランティア部会 |
| <p><目的> 子どもの知育・徳育・体育を推進する部会</p> <p><活動内容> ・職業調べ ・職場体験 ・高校体験 ・スタディタイム 等</p> <p><実働組織> 学校 研究指導部 学年ユニット PTA 学年委員会担当</p> <p>地域 各自治会</p> <p>家庭 PTA 学年委員会 げんこつの会</p> | <p><目的> 国際的視野の拡大や郷土の振り返りを推進する部会</p> <p><活動内容> ・イメージ教育 ・文化理解科学習 ・留学生との交流 英語圏との交流 等</p> <p><実働組織> 学校 教育課程部 PTA 教養委員会担当</p> <p>地域 各自治会 まいんどクラブ</p> <p>家庭 PTA 教養委員会</p> | <p><目的> 三者の連携・協働を推進する部会</p> <p><活動内容> ・おおさの川・地域清掃 ・地域行事等お手伝い ・にしの日・挨拶運動 ピックアップ登校 ・まほろば活動・防災訓練(新) ・樟蔭のつどい 等</p> <p><実働組織> 学校 生徒指導部 学校安全指導部 PTA 地域委員会担当 部活動担当</p> <p>地域 各自治会 おおさの川を愛する会</p> <p>家庭 PTA 地域委員会</p> |

<留意点>

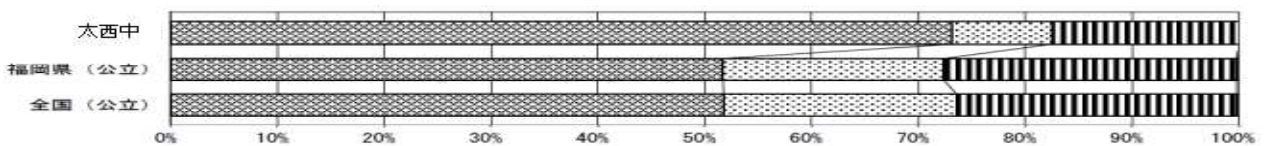
- 職場体験先の開拓や職業講話講師の紹介等、各部会の「活動内容」について、必要に応じて地域や該当 PTA 委員会（実働組織）に相談・依頼することがあります。
- 1 ピックアップ登校(年数回程度)…ごみの収集・分別(各地区年1回)を PTA 地域委員会が支援
- 2 文化理解科「講師」へのお茶のおもてなし… PTA 教養委員会が担当
- 3 地区別集会…各地区の自治会長（等）に参加を依頼し、生徒との対話や協議等を設定
- 4 CSの啓発方法…校内CSコーナー掲示板、学校だより・CSだより、回覧板
学校行事（体育会、文化発表会）への「地域参加型」の導入

6 平成30年度の成果・課題

<成果>

- (1) CSの組織と全体構想が確立し、学校運営協議会の意図の下、「にしの日」挨拶運動・ピックアップ登校・生徒の地域行事参加等、一定の取組が有意義に実践できている。
また、新規事業として、「まほろば活動」と称した地域と連携した防災への取組や、CSを推進・啓発する「スローガン・キャラクター」を生徒会活動と協働して設定ができた。
- (2) 教職員・PTA・地域にCSを推進しようとする意識が芽生えてきた。特に、学校運営協議会委員の意識は高く、地域・学校のために前向きである。
- (3) PTAからの「CS活動補助金」によって、各事業や委員の活動が支えられた。
- (4) 全国・学力学習状況調査や学校評価において、生徒の郷土愛やボランティア意識がますます伸びている、結果が出ている。

<全国・学力学習状況調査：（質問23）地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。>



<課題>

- (1) 「ハード面」が確立し一定の取組で成果は出ているが、より価値の高い取組になるよう「ソフト面」（取組内容・取組方法）の充実を工夫していく必要がある。校務分掌組織も動かしたい。
- (2) CS推進の意識が芽生えてきたとはいえ、まだまだ三者に「温度差」がある。市と合わせて、CS啓発・熟議を推進していかなければならない。CSスローガン・キャラクターを、学校だより・広報紙等の印刷物に載せたりグッズを製作したりすることで積極的に活用したい。